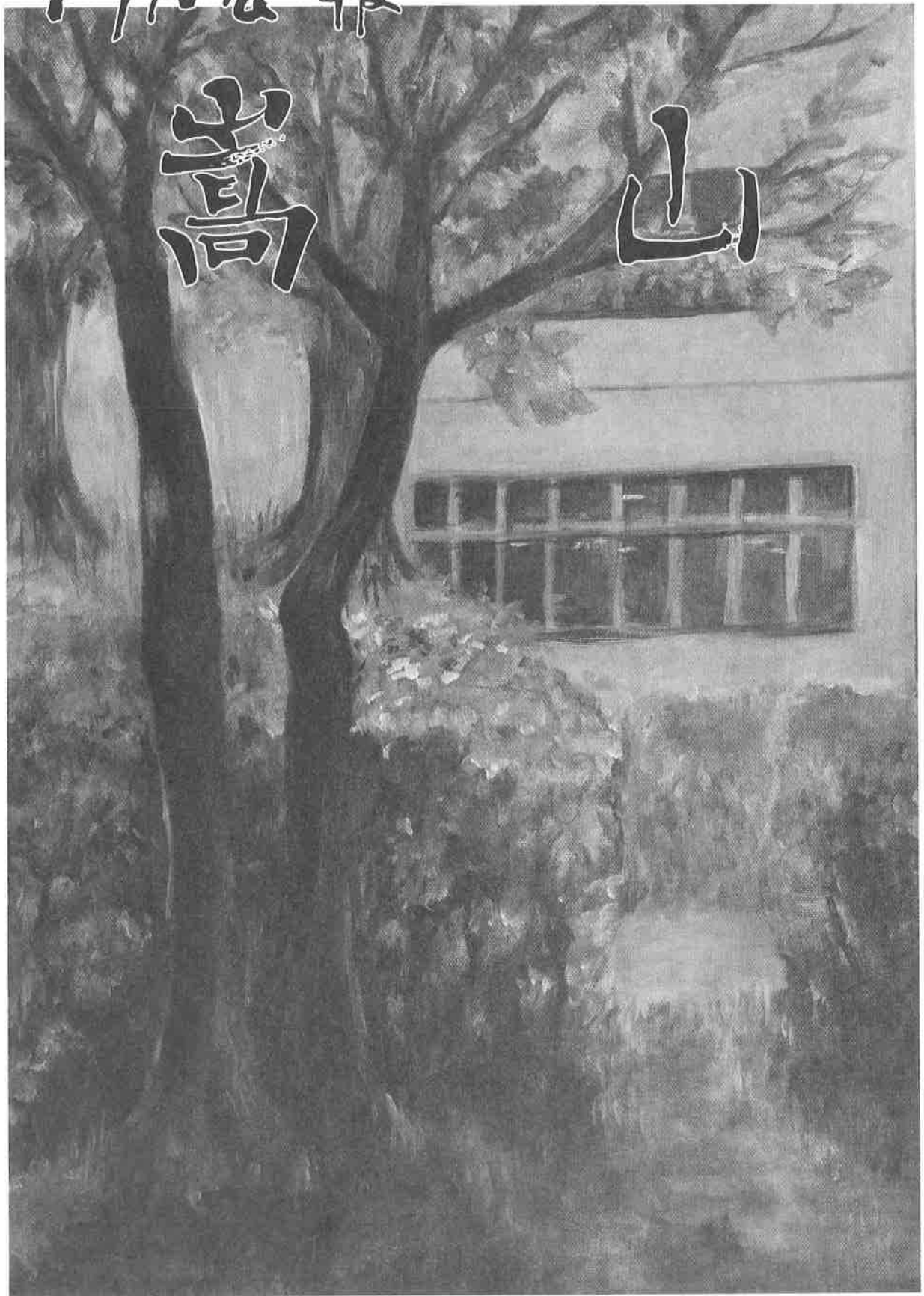


PTA会報

No.57 2012.12



嵩山

松江東高

目次

○ 東雲祭の様子	1
○ 校長挨拶	2
○ 特集1「部活動と高校生活」	4
○ 特集2「携帯電話利用状況アンケート」	11
○ 部活動成績一覧	14
○ 新任教職員紹介	19
○ PTA会務報告	22
○ 編集後記	24



▲本校正門から入ってすぐに見える石碑(昭和63年3月 松江東高校同窓会から寄贈されました)

東雲祭の様子



8月30日 文化の部 ①



8月31日 文化の部 ②



9月 1日 体育の部





「看守る(みまもる)」と「看護る(みまもる)」

校長 村上 浩 二

息子が中学一年の二学期から不登校になった。友人たちの心無いからかいがきつかけたったかもしれない。「まさかわが子が…」と思いついた。誰もそうであるように「なぜ？」を繰り返した。「なぜ耐える力が足りないのか」「なぜ何も言ってくれないのか」「なぜこんな風に育ってしまったのか」。挙句、「どこで育て方を間違えたのか？」夫婦二人で幾度も泣いた。

岡山からやってくる平川先生が催す「不登校の親の会」に出会った。参加した親たちは皆それぞれが抱えている苦しみを告白した。お互いに聞きながら涙し、話しながら涙した。共感でき、共感してもらえぬ場所でも苦しみが和らいだ。

平川先生から繰り返し励まされた言葉がある。「この苦しみはお子さんの成長の過程であり、必ず光がさす未来があります。」いつも立ち向かう勇氣が湧いた。

子どもと向き合うのに、たくさんヒントをもらった。「ここにイエス」「ここにノー」と「いやい

やイエス」「いやいやノー」もその一つだ。

子どもから何かの品を買ってほしいと求められたとき、その品の必要性を親も子も同じ価値観で認め条件も許せば、当然「ここにイエス」と答えることになる。しかし、価値観は認めても条件が整わなければ、「必要なはよくわかるけど、今月はピンチで買ってあげる余裕がないの。ボーナス月まで待ってね。」と「ここにノー」になる。子どもなりに事情は理解できるから、親は少なくとも自分を大切に思ってくれているけど、今はだめなんだなと納得できる。

一方、不必要だと思いつつも子どもの機嫌を考えるとどうせダメだと言つても、みんなが持つてね。」と「いやいやながら品を与える。こんな「いやいやイエス」では、品物は手に入つても、子どもには親の愛情は少しも伝わらない。まして、「いつも要らんものばかり欲しがって、ほんとに勉強もせずによくそんなことばっかり言い出すね。絶対買わ

んけんね。」という「いやいやノー」では子どもへのダメージは倍になる。だから、イエスにしてもノーにしても、いつも「ここにこ」でいられる親になりなさいというヒントだった。

「私」という主語をつけて、子どもに話さないというヒントもいただいた。部屋の片付けにしても「私」がないと、ついつい命令口調になってしまふ。「少しは片付けなさいよ。邪魔になつて仕方がないわ。」ここに「私」をつけると、「お母さんはもう少し片付けていると、アレコレ動き回るのに楽しんでだけな。」となる。子どもの中には何も押し付けられずに、しかも「私」の価値観はきちんと伝えられるということだ。

もう一つは、「横並びの教育」だ。親が自分の価値観や考え方を子どもに伝えようとするとき、ややもすると「面と向かつて」とか示唆するような言い方になりがちだ。台所で何かのお手伝いをしてもらう状況だと、簡単に「横並びの教育」が可能になる。肩を並べて皿洗いか何かをしながら、ふと気がかりだった話題に触れる。「した方がいいんじゃない。」ではなく、もちろん「私」を入れて、「この間の話だけど、お母さんはね、自分が高校生の時には、くることがあったのよ。だからお母さんだったら、くするのがいいなと思つてるよ。」これだと、親

は自分の価値観を根拠と共に伝えるだけに留ま
て、決して押し付けがましき感じられない。子ど
もは反発を感じることがなければ、素直に意見と
して聞き入れ、自分の中で上手に吟味するものだ。

「なぜわが子はわずかなプレッシャーに耐えら
れないのか？」との問いに平川先生は「育てたよう
に子は育つ。」と言い放たれました。「子どもは愛情
を注がれて十分なエネルギーを蓄えていれば、少々
のことでへこたれたりしない。お子さんは愛情の
ガス欠状態だから、あらためてどんどん愛情を注
ぎなさい。今あるがままのわが子を認める勇気を
持ちなさい。」

不安でした。本当かしらとも思いました。当時子
どもらはゲームソフトに群がっている時代でした。
わが子の求めるまま、次々とソフトを買い与えま
した。「ゲームソフトという品物で親からの愛情を
計っているのかもしれない。愛情のガス欠を補お
うとしているのかもしれない。」そして「この苦し
みはお子さんの成長の過程であり、必ず光がさす
未来があります。」という言葉を受けて、「ここにこ
イエス」を買きました。

二十万円も使ったでしょうか。息子は「買ってく
れ」をびたつと言わなくなりました。もうこの頃には
私たち両親も、あるがままの息子を受け入れる

のに何も抵抗がなくなっていました。平川先生に
報告すると、「愛情のガス欠のツケを払い終えたと
ころだね。おいしいものをたくさん食べさせて、う
ぐんと抱きしめてあげなさい。」とさらに励まされ
ました。まもなく息子は「学校に行ってみる」と言
い出しました。親は「無理しなくていいんだぞ。の
んびりしていいんだぞ。」と考えていましたが、息
子の思うようにと学校と連絡をとり、幸い当時の
中学校校長先生の深い理解と支援をいただいで、
三年生の初夏、息子は復帰を果たしました。

親は誰しも大切なわが子を常に見守ろうと努力
します。看護師のような支える想いで「看護る(み
まもる)」のは子どもにはありがたいのですが、看
守のような監視するまなざしで「看守(みまも)」ら
れたのでは、たまったものではありません。

息子が歩んだちよつとした「回り道」が、私たち
両親にもたらしたものはとてつもなく大きなもの
でした。わが子の成長にそつと寄り添うだけで、親
はひとつひとつ勉強させてもらえるものだなと思
います。「おいしいものをたくさん食べさせて、ぎ
ゅつと抱きしめてあげて、家庭で愛情を十分充電
してあげる」ことが親の最大の務めだと思えます。

子どもは子どもなりに、毎日さまざまに試練を
受けています。今後とも学校、家庭と連携を深め、

すべての子どもが幸福な学校生活を送れるよう努
力していきましょう。



特集1

部活動と高校生活 三年生 部活動を振り返って

仲間

女子バスケットボール部 山崎志津乃

私は、部活動を通じて、仲間の存在の大きさを実感しました。

部活は、楽しいこと、嬉しいことばかりではありませんでした。つらいこと、苦しいこともたくさんありました。そんな時、仲間と一緒に頑張ったから、どんなことも乗り越えることができました。時には本気でぶつかり合い、時にはお互いを励まし合う、そんな仲間たちと一緒にバスケットボールができたこと、本当に誇りに思います。一生の宝物です。そして、そんな私たちを指導してくださった先生方、応援してくださった保護者の方。私たちはいつも支えられていました。感謝の気持ちでいっぱいです。

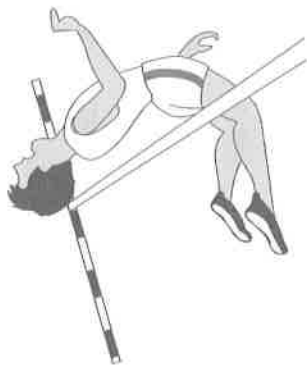
自分は決して一人ではないこと、自分を支えてくれる人がいることに感謝して、これからも自分らしくがんばっていききたいです。

一生信頼できる仲間

陸上部 足立潔則

僕は、松江東高校に入学して初めて陸上部に入ったとき、指導者がいないことに絶望しました。陸上競技で記録を出していくためには、指導者というのは欠かせない存在でしたので、始めの一年間はずっと苦しんでいました。でも、そんな苦しみの中で僕は、“一生信頼できる仲間”に出会うことができました。

陸上部を引退した今、厳しかった冬期や、部で起こったいろんな問題に、部員全員で立ち向かったことを誇りに思います。僕は陸上部が大好きです。



真善美※

弓道部 高井美緒

私は弓道部に入り、たくさん学び、素敵な出会いを得ました。

弓道は見た目以上に難しく、とても繊細で、すぐに中らなくなってしまう。その都度自分を見つめ直し、それまで先輩や顧問の先生に教わったことを思い出しながら少しずつ前進していくという、個人戦に見えてとてもチームワークを必要とするスポーツです。

その中で、自分のことを後回しにしても指導してくださる先輩、わんぱくで元気な後輩、仕事の合間をぬってきてくださった外部コーチ、OBの方々、仕事が早く、どんな遠くでも弓具の運搬をしてくださった顧問の先生と出会えました。

自分はいつも支えられていること、出会いに感謝し、これからの人生に生かしていきたいと思えます。ありがとうございます。

※弓道の最高目標とされる三つの価値概念

感謝

女子バレーボール部 福岡美幸

高校三年間の部活動を通して私が最も強く感じたことは、同じ目標に向かって支え合い、励まし合った仲間の大切さや、私たちを応援してくださるすべての方々への感謝の気持ちです。

苦しみもつらさも、仲間がいてくれたからこそ乗り越えることができたと思います。そして私たちが思いきり部活に専念できたのは応援してくださった方がいてくれたからだと思います。

また、部活動を通して、挨拶や礼儀正しい態度を身につけ、人間としても成長できたと思います。

高校三年間の部活動は、様々な面で私を成長させてくれたものとなり、それらのすべてに心から感謝をしています。この経験を活かし、今後も頑張っていきたいです。

感謝

調理同好会 三木有稀

私は入部してすぐ部長を任せられました。一年生だけのゼロからのスタートでしたが、活動するたびにいろんな発見や喜びがあり、部員の皆や先生に支えられながらとても充実した部活動でした。今の二年生がたくさん入部してくれて、仲良くなり、以前より部が明るく活発になりました。一年生も倍近く入部してくれてますますにぎやかになりました。

調理同好会の良さは、自由でありながらも協調性があり、皆が楽しめることだと思います。先輩という存在の代わりに、優しい友達や先生、かわいいう先輩たちに恵まれました。私自身ソフトテニス部と兼部をして部員のみんなに迷惑をかけてしまったことがとても心残りですが、部活動を通して皆で一つのことをする楽しさや大切さを学ぶことができました。調理は進路にも繋がるので今後も頑

張りたいです。みんな本当にありがとう！

自然科学つていいよね！

自然科学部 客野瑞月

私が熱心に部活動をするようになったのは、二年の終わりの頃からだったと思います。それまではやる気もなく、ただ何となく引継ぎの研究をしているだけでした。やる気が出て、やつとやりたいことが見つかったのも三年の始めごろで、その時には十分な時間も実験の機会もありませんでした。結局、中途半端なことしかできず、もつと早くに自然科学の面白さに気が付いていけばよかったと思っ後悔しています。しかし、この部のおかげで物事に関心を持てるようになったり、知識が得られたりしたので入部して本当に良かったと思います。この経験が役立つことはないかもしれませんが、これからの生活をより楽しめそうな気がします。

信頼

女子テニス部 安食いづみ

東高のテニス部に入って、仲間や先生と一緒にテニスができたことを本当にうれしく思います。中学生の時に部活に入っていた私にとつて、高校の部活動というのは楽しみであり、不安でもありました。

しかし部活をやってみるとそんな不安はすぐになくなりました。たしかに部活のことで悩んだり、

苦しい時期もありました。でもその中で私は「信頼」ということを学びました。

悩んでいる私に先生は親身になって相談に乗ってくれました。そんな信頼できる先生だからついていくことができました。そして信頼できる仲間を持つことができました。

部活動で学んだことを活かして、これからの目標に向かって頑張りたいです。

支え

漕艇部 渡部慎也

高校生活の半分を僕は艇の上で過ごしました。艇の上から見る松江の風景は陸の上からはまた違う魅力を感じます。そのような環境で三年間ボートができたことにとても感謝しています。

僕たちはインターハイで入賞を目標に、部員全員で、熱い日も寒い日も声を掛け合いながら練習してきました。結果的に二つのクルーがインターハイ準決勝進出という目標には届かなかったものの、満足のいく結果を出すことができました。そのような結果が出せたのは顧問の先生方や、家族、部員のみんなのおかげだと思っています。その感動を忘れず、部活で学んださまざまなことを自信に変えて日々精進していきたいです。



部活動と私

アーチエリー部 柏井葉月

私は体験でアーチエリーの楽しさに魅かれて入部しました。それから幾度か季節が過ぎましたが、どの季節もそれなりに苦しく、てんやわんやしていて、今思い返せば笑えるほど楽しかったです。この二年でめげない心とくじけない心が強化されました。様々な脅威に震えたこともありましたが、そのたびになんだかんだと乗り越えてこれたのは、このメンバーだからこそだと思います。ふがいないキャプテンでしたが、みんなに支えられてなんとかやりきることができました。私の部活動と高校生活両方において、多くの方に助けていただきました。ありがとうございます。

部活動を振り返って

男子ハンドボール部 森田莞爾

自分の高校生活を振り返ってみると、とても短かったように思います。この三年間で様々な良い経験ができました。

ハンドボール部に入ったばかりの時、高校から始めたこともあって毎日が新鮮で楽しかったことを覚えています。それからキャプテンになって、楽しかったことやつらかったことを乗り越えられたことは、これからの人生に活かせるような貴重な経験になりました。

あまりキャプテンらしくなかった僕でしたが、周りの人たちに支えられて最後までやり通すことができました。後輩や先輩や先生方、そして応援してくださった方々には本当に感謝しています。ありがとうございます。

素敵な時間

茶道同好会 赤木利菜

忙しい高校生活の中で、私にとって部活は安らぎの時間でした。茶道について何も知らずに入部した私ですが、活動を重ねるうちに様々なことを知り、茶道の魅力を感じるようになりました。先輩や後輩と一緒に、同じひとつのことに楽しく取り組めたことがとても貴重なことであつたと思います。

頼りない私が部長となり、部員にたくさん迷惑をかけてしまいました。後輩のお手本になるような良い先輩ではありませんでしたが、部員みんなでよい雰囲気を作って、仲良く頑張る部活動が大好きでした。普段の勉強とは違った、素敵な時間を過ごすことができました。

支えてくれた方々、本当にありがとうございます。



三年間で得られたこと

E S S部 門脇侑里

E S S部の活動を通して、私は普段接することのできない英語に触れたと思います。外国の文化について知ることができたのは、私が部活で得た一番大きなものです。今まで漠然としていた外国の知識や興味がサラ先生と英語を通しての活動の中でだんだんとはつきりしてきました。そうしてさまざまなことを知れば知るほど、英語が好きになつていきました。

少数数での部活でしたが、それだけみんなで協力することができ、楽しい三年間でした。部活で学んだ英語の知識を将来どこかで役立てられればいいと思います。

部活動と高校生活

男子バスケットボール部 金村大輔

僕の高校三年間の生活は、毎日が充実した日々だったと思います。

松江東のバスケット部は県内では強豪校で、毎年総体の決勝戦で優勝を争うチームの一つです。その中で、プレーさせてもらいたくさんの経験を積むことができました。

また、日々の生活の中では、毎日友達との会話が絶えません。勉強、テストの縛りもありまし

だが、悔いのない生活ができたのでよかったです。

私に託された課題

吹奏楽部 西野舞夕子

「あなたが一番大事にしているものは何ですか。何があっても大事なものを見失わないように守り抜きなさい。」

部長になって最初に言われた言葉でした。私は最初その意味が全く分かりませんでした。しかし、今年の夏、音楽は勝つためだけに頑張るものであつてはならないと気づき、大きな選択を迫られたとき、ようやくその言葉の意味を理解することができました。私が大事にしていたものは部員の笑顔でした。

私は、選択をするということは何かを犠牲にしなければならず、部長としてその選択にゆるぎない意志を持ち続けなければならぬということ、そして誰かの中心に立つということは大事なものを守るため、自分を信じ抜かなければならないということを通じて部活を通して教えられました。

私にとつて部活とは人生を学んだ場所でもありました。



部活動を通じて学んだこと

合唱部 石橋英里香

中学三年の夏、今までにない感動とともに私もこの中で歌いたいと強く思いました。

そして東高に入り、合唱部に入部しました。しかし、思うようにうまくいかないこと、つらいこと、ほうが多かったかもしれない。一番楽しかったこと、同時に一番悩みが尽きなかったのも部活でした。何度もうけそうになり、部長という私にとつて似合わない役割を果たせるのか自信もありませんでした。でも、いつもそばにいて一緒に頑張ってくれた仲間、家族、先生の存在はとても大きかったです。

コンクールの結果は大変悔しいものでした。いろいろな人の応援に答えられなくて情けないと思いました。しかし、この部活を通して賞よりも大切なことを学びました。きっとそれは、これからの人生で私の糧になると思います。

楽天

サッカー部 石橋 遼

僕は部活動が大好きでした。時にはサッカーで厳しく競り合い、時には他愛もない会話が盛り上がり、そんな部員という時間は最高でした。でも、長い部活の日々は甘いものではなく、学校で終礼が終わわり、今から部活だと思つと憂鬱になること

も少なくありませんでした。こんな日々を繰り返して、部活を引退した今、僕にとつて部活動は本当にかげがえのないものだったと感じます。

高校生活において、部活動は必須なものでなければ、楽しい時間だけをもちたらずものでもありません。ただ、部活を通して得られる仲間や経験は高校生活の中で部活動でしか得ることのできない大切なものだと思います。

また、つらいこと、後の楽しさは半端じゃないことも学びました。

部活動での経験

女子バドミントン部 石橋里奈

高校生活の中の部活動は、とても濃いものでした。キャプテンに選ばれたときは自分に務まるのか、不安でいっぱいでした。実際やってみても不安は消えませんでした。チームをまとめていくことの大変さを実感しました。しかし、たくさんの方々に支えてもらったおかげで、キャプテンを務めることができたと思います。こんな自分に最後までついてきてくれたチームメイトや、陰ながら支えてくれた家族、先生方、応援してくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。つらいこともたくさんあったけれど、バドミントンを通して大切な仲間に出会い、一緒に練習できたことは私にとつてかけがえのないものです。この三年間で学んだたくさんの方々のことを活かしてこれからもがんばっていききたいと思います。

剣道が教えてくれたこと

剣道部 金築佳佑

この部活動を通して、私たちは人間的に一回りも二回りも成長したと思います。

何よりも気持ちの面でタフになることができませんでした。もちろん、苦しいこともたくさんありました。しかし、そのたびに周りの仲間たちと支え合って乗り越えてきました。このような経験一つ一つが私たちの生活の中で絶対に生きてくると思いますが。

また、先生からは剣道の技術だけでなく、人間形成についても学びました。先生の言葉は私たちに本当に考えさせることばかりで、とても勉強になりました。本当に感謝しています。

剣道とは、「人間形成の道」です。これは勝ち負けよりも大切なことであり、この部活動で学ぶことができたと思います。これまで支えくださった周りの方々には感謝しています。



高校野球に感謝

野球部 金津 裕



私は三年間の高校野球を通して多くのことを学ぶことができました。三度夏の大会を経験しましたが、毎回何か独特なものを感ずることができました。

そして、三年間の高校野球で私は強くなれたと思います。チーム全員の心を一つにするという大きな壁にぶつかりました。結局、その壁を乗り越えることはできませんでした。しかし、その壁を越えようと努力したことが私を強くしてくれたのだと思います。

キャプテンをさせてもらった一年間で私はたくさんの人いろいろな面でお世話になりました。自分を支えてもらっているということを感じることができました。

最後に、松江東高校野球部で出会えた指導者の先生方と仲間ありがとうございます。

高校生活で学んだこと

男子テニス部 徳力誠治

僕は、高校生活三年間の中でいろんなことを学び、経験しました。

勉強と部活動の両立はとても難しいもので、部活ではなかなか勝つことができず、勉強ではよい成績をとることができませんでした。ですが、部活のメンバーや友達などに助けってもらったり、支えってもらったりして乗り越えてきました。

このように辛かったり楽しかったりということを高校生活で学びました。僕は、この貴重な経験をこれからの生活に活かしていきたいと思っています。

思いを「伝える」

文化創造部 兒島真伊

文化創造部での作品作りの中でいつも考えていることは「どうやって『伝える』か」ということです。自分では満足した作品を作ってもそれが相手には伝わらない時もあります。相手の気持ちを考えるというのは簡単そうですが、案外難しいです。私はまさにその壁にぶつかり一人で悩んでいました。ですがそんな時助けてくれたのが部員や先生方でした。みんなで一つの作品に対する考えを伝え合うことで、一人で悩んでいた時の作品より「伝える」気持ちの詰まった作品を作ることができま

した。

文化創造部で学んだ「伝える」気持ちや日々の生活でも忘れずにしていきたいと思えます。

熱意を持つことの大切さ

弦楽部 森脇加穂

私は部活動を通して、物事に対して熱意を持つことの大切さを学びました。

練習嫌いな私にそれを教えてくれたのは、部員の「上手になりたい」という熱い思い、そして自分の楽器と本気で向き合うその姿勢でした。

ただやみくもに練習するのではなく、熱意をもって真剣に物事と向き合うこと。それを本物の努力というのだと実感しました。そして部員たちから学んだことは、今後の人生においても必ず役に立つと信じています。

これからも物事に対する情熱を忘れずに努力し続けていきたいです。

感謝

女子ソフトテニス部 津田明美

私は部活を通して、たくさんの人に支えてもらいました。毎日一緒に練習し、落ち込んでいるときは励まし合い、嬉しいときには一緒に喜べる仲間を得ました。そして、優しく、時に厳しく指導してくださった先生や外部コーチ、一生懸命応援して

くださった保護者の方々、私たちの知らないところで支えてくれた方々、なかでも支え合い励まし合える仲間は私にとってとても大切な存在です。キャプテンになって大変なこともあったけれど、ソフトテニス部に入って楽しく充実した部活動ができたことに感謝します。高校生活で忘れることのできない一番の思い出です。

ありがとうございます

部活動を通して

女子ハンドボール部 藤野優菜

私の三年間の部活動は、いろいろなことを感じ、学ばせてくれるものでした。

一年生の時はマネージャー、二年生からは選手になりました。同学年一人という立場で不安はたくさんありました。つらくて苦しいときもありましたが、後輩や先生方、家族のおかげで三年間続けることができました。本当にありがとうございます。

高校生活の中で部活動はかけがえのないものになりました。キャプテンとしての仕事はうまくできなかつたかもしれませんが、貴重ないい経験でした。

そして部活動で学んだ多くのことを、これからの人生に活かしていきたいと思えます。

思ったより大変だった部活

書道部 渡部菜央

小学校の時にクラブ活動をしていなかった私は、中学校で初めて部活という集団に入ることや集団行動や規律、団体意識の大切さを知り、大きく衝撃を受けましたが、高校の部活に入ることではさらに驚くことが多かったです。中学では先生の言われたメニューをしっかりとこなすことが大切でしたが、高校では自分の意思で行動することが、どちらかというと大切だったかと思えます。「自分の書きたい作品を探す」や「自主練した作品を先生が来た時に添削してもらおう」や「作品を飾るときにレイアウトを考える」など、自分で決めることが多かったなあと思えます。自分でやりたい作品が決めるのは楽しいと思いたけれど、自分で選ぶというのはなかなか大変でした。部活をして少しは自主的に動くということや学べたのではないかと思います。



刻苦勉強

男子ソフトテニス部 内田 勇貴

私は部活動や日々の学校生活の中で自分の力を高める貴重な経験をたくさんさせてもらいました。部活では二年間キャプテンをさせていただきました。自分で練習内容を決めなければならぬことが多くあり、自分の決断がチームの成長を左右するということと責任を持たなければならぬことが、将来のためにわずかでも力をつけることができました。

また日々の学校生活という勉強につながってしまいますが、学習面では無数にある進路の選択肢の中で自分が目指すもののために努力するという姿勢が身につきました。これは今後あらゆる面で活きると思うので大きかったです。

東高での三年間を通して自分を成長させることができたので東高を選んで本当に良かったです。



部活について

卓球部 渡部 建志

高校生になって、部活に入って一番に感じたものは多様性でした。人、環境、練習、中学生の時とは全く異なりました。

十人十色と言いますが、一人で数色持っている人々なので、先輩たちの偉大さを感じました。主将になって、さらに人々を統率するむずかしさを知りました。中学校でも主将でしたが、いつも先生が見てくれていたのでそのことに甘んじていたのかもしれません。

環境、練習も絶えず変化するもので、周りからの「キャプテン！」の声に右往左往でした。

先輩たちにも、同級生にも、後輩にも、多大な迷惑をかけました。すみませんでした。一緒に過ごせて楽しかったです。ありがとうございました。



美術部員として

美術部 並河 真太郎

進路の都合から自分は、三年生の初めから美術部に所属しました。それまではそれとは全く関係のない運動部に入っていたので、その違いに驚いたことを憶えています。

作品創造のうえで、独自のアイデアが必要になります。自然物、人工物から特徴を抽出していかにも面白くなるかとか、どういったアングルがベストかとか、そういうところが運動部との違いであり、醍醐味なのだと感じます。

以上のようなことから最終的にさまざまな経験をすること、自分の中にある世界が広がり、生活が豊かになるという様に思いました。今後もしっかり自分の環境や価値観に触れていきたいなと思います。



平成24年松江東高校生徒 携帯電話利用状況アンケート

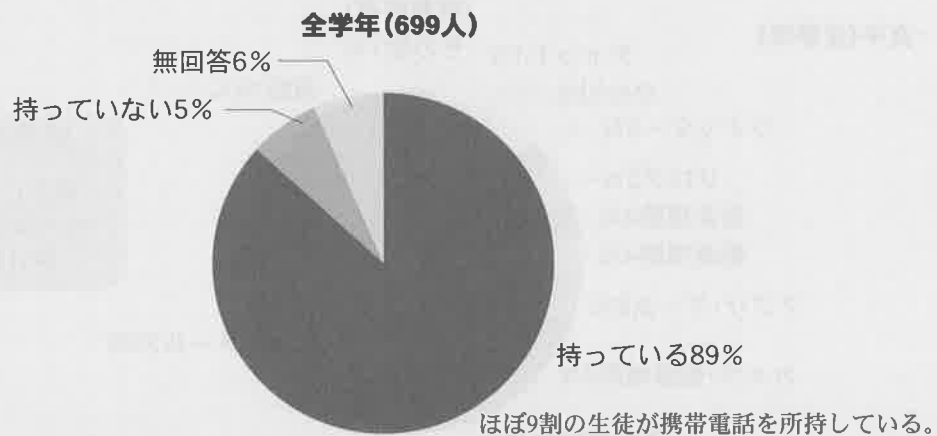
特集 2

近年「パソコン」や「携帯電話」など、いわゆる情報端末の世界はとても速いペースで変化しています。誰にとっても日々の生活に必要な不可欠なものであることは間違いないでしょう。2年前、東高生に「携帯電話」の利用状況についてアンケートを実施していますが、今や「携帯電話」といえば「スマートフォン」、つまり小さなパソコンを携帯している、と言っても過言ではない時代です。

そこで今回は特に「スマートフォン」について、東高生にどのような利用状況が見られるのか実態を知る、ということを目ざしてアンケートを行いました。このアンケート結果がご家庭での話題の一つになればと思っております。

アンケートにご協力くださいました生徒のみなさん、ありがとうございました。

Q1.あなたは自分の携帯電話を持っていますか。



Q2.携帯電話を持っていない理由。

- ・「特に必要を感じない」
- ・「親の反対がある」
- ・「成績が悪いので買ってもらえない」
- ・「まだ自分でお金が払えない」
- ・「家の電話で十分」
- ・「携帯電話を使ってまで話すような仲のいい友人はいない」

※3年生の回答の中には、

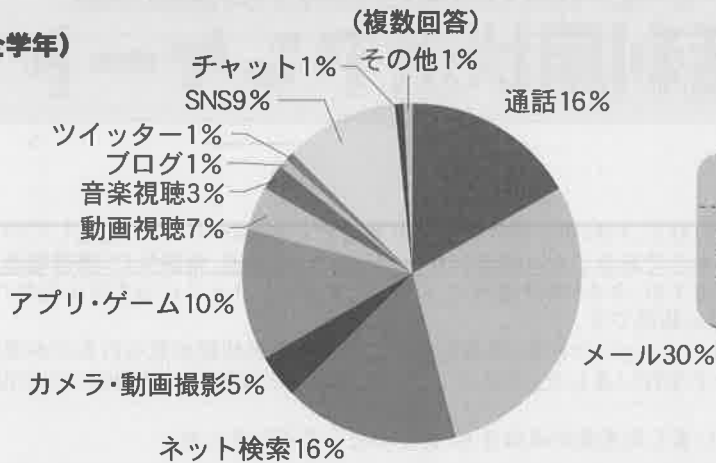
「今は勉強の妨げになる」

「大学生になったら持てばよい」というものもあった。

さすが3年生！！

Q3.よく利用する携帯電話の機能を3つ選んでください。

・男子(全学年)

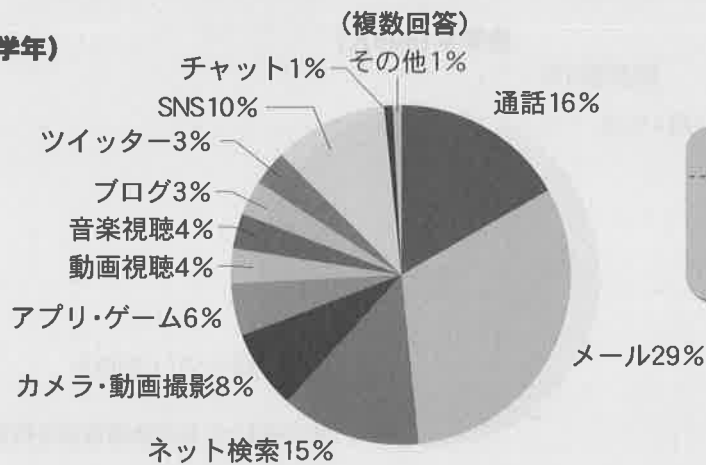


男子の特徴

アプリ・ゲームのための利用が多め。

Q3.よく利用する携帯電話の機能を3つ選んでください。

・女子(全学年)

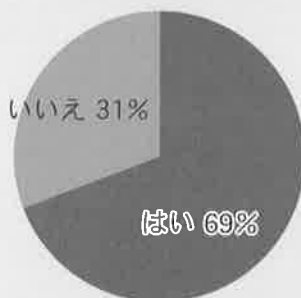


女子の特徴

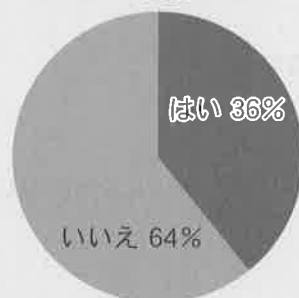
男子に比べてカメラの利用が多いかも。

Q4.あなたの携帯は「スマートフォン」ですか。

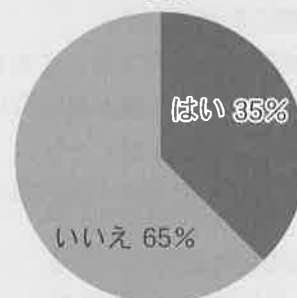
1年生(回答者219人)



2年生(回答者203人)



3年生(回答者191人)



1年生には、高校入学と同時に「携帯デビュー」の人がいます。購入の時期が新しいので、他学年に比べて割合が多いのかもしれませんが。

Q5.「スマートフォン」が欲しいと思いますか。

- ・「欲しい」と回答した生徒は1年生22名（「持っていない」の32%）、2年生35名（「持っていない」の26%）、3年生50名（「持っていない」の40%）。
- ・「欲しい」という理由は「便利」「カッコいい」「アプリがたくさんある」「楽しそう」など、学年を問わず共通している。
- ・「欲しくない」と回答の中には「今は普通の携帯で十分」や「画面が指紋で汚れていや」「メールが打ちにくい」というものなどがある。

Q6.「スマートフォン」の魅力はどういうところにありますか。

「画面が大きい」
 「画質・音質がきれい」
 「カッコいい」
 「検索が便利」
 「検索が速い」
 「使いやすい」 など

「地図アプリが便利」という声はよく聞きますね。これで怖いものなし、道にも迷わないね！

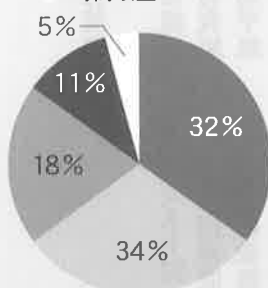
TDLのアトラクションの待ち時間などもチェックできるんですよ。人気アトラクションにどれくらい並ぶか、気になりませんか？

その他「これは便利」というアプリをまた教えてくださいね。

Q7.1日の携帯使用時間はどれくらいですか。

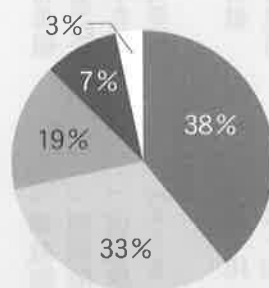
1年生(218人)

- 1時間未満
- 1時間以上～2時間未満
- 2時間以上～3時間未満
- 3時間以上～4時間未満
- 4時間以上



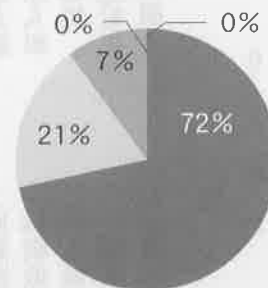
2年生(202人)

- 1時間未満
- 1時間以上～2時間未満
- 2時間以上～3時間未満
- 3時間以上～4時間未満
- 4時間以上



3年生(191人)

- 1時間未満
- 1時間以上～2時間未満
- 2時間以上～3時間未満
- 3時間以上～4時間未満
- 4時間以上



平成24年度松江東高校部活動成績4月～8月

アーチェリー

《県春季大会》

少年女子シングル

- 1位 池田くみ子
- 2位 内田理恵子
- 3位 石原遥菜
- 4位 柏井葉月
- 5位 青笹実香

少年男子シングル

- 1位 田中達也
- 2位 寺本雅史
- 4位 網野公一朗
- 5位 堀内雄太

少年女子30m

- 1位 田中沙弥
- 2位 戸島菜月
- 3位 寺本万由奈

少年男子30m

- 1位 井塚智士
- 3位 堀江雄二

《県総体》

- 女子団体 1位
- 男子団体 1位
- 女子個人 1位 池田くみ子
- 男子個人 2位 内田理恵子
- 3位 石原遥菜
- 5位 青笹実香

《国体県一次予選》

少年女子

- 1位 池田くみ子
- 2位 内田理恵子
- 3位 柏井葉月
- 4位 村上祥子
- 5位 寺本雅史

少年男子

- 1位 森脇渉
- 3位 田中達也
- 4位 網野公一朗
- 5位 堀内雄太

《全国総体》

女子団体

女子個人

- 31位 池田くみ子
- 52位 内田理恵子
- 143位 青笹実香
- 181位 村上祥子
- 191位 寺本雅史
- 203位 田中達也
- 209位 森脇渉

男子団体

男子個人

《山陰選手権大会》

女子個人

野津彩菜・津田明美組

男子個人

大島拓実・前川勇組

持田尚宏・内田勇貴組

鷺見和朗・山本亮平組

坂下有哉・寺田拓人組

《県総体東部地区予選》

女子個人

三代真実・山本結菜組

生和じゅん・中井里咲組

間賀部千秋・三木有稀組

野津彩菜・津田明美組

男子個人

大島拓実・前川勇組

持田尚宏・内田勇貴組

鷺見和朗・山本亮平組

安部遼人・春名雄太組

坂下有哉・寺田拓人組

飛陽介・太田裕也組

佐藤史弥・谷浦禎紀組

有田航・持田魁人組

女子団体

二回戦

三回戦

順位決定戦

- 2-1 出雲
- 0-2 松江南
- 2-0 情報科学高校
- 0-2 出雲商業高校
- (6位)

ソフトテニス

男子団体

二回戦 3-0 松江北
三回戦 0-2 出雲北陵
順位決定戦 2-0 安来
1-2 出雲
(6位)

《県総体》

女子個人

三代真実・山本結菜組 一回戦敗退
生和じゅん・中井里咲組 一回戦敗退
間賀部千秋・三木有稀組 ベスト32
野津彩葉・津田明美組 ベスト32
男子個人 ベスト16
大島拓実・前川勇組 (中国大会出場権獲得)

持田尚宏・内田勇貴組 二回戦敗退
鷺見和朗・山本亮平組 二回戦敗退
安部遼人・春名雄太組 三回戦敗退
坂下有哉・寺田拓人組 二回戦敗退
飛陽介・太田裕也組 一回戦敗退
佐藤史弥・谷浦禎紀組 二回戦敗退
有田航・持田魁人組 二回戦敗退

女子団体 二回戦 1-2 松江北
二回戦敗退
男子団体 一回戦 3-0 隠岐
二回戦 2-0 江津工業
準決勝 0-2 大社
ベスト8

テニス

《島根県高等学校テニス個人選手権 松江地区予選》

女子 シングルス 3位 榎野裕奈
女子 ダブルス 3位 榎野・堀江
男子 シングルス 2位 小谷知広

《島根県高等学校テニス個人選手権》

女子 シングルス ベスト16 安食いづみ
榎野裕奈

《山陰テニス選手権》

男子 ダブルス 3位 小谷・竹内

《中国ジュニアテニス選手権 島根県予選》

U-16の部 男子 シングルス 3位 小谷知広
U-18の部 男子 シングルス 7位 壺倉優太郎

《県総体》

女子 総合 3位 安食・曾田・榎野
団体戦 3位 中村・堀江
男子 総合 5位 小谷・竹内・壺倉
団体戦 5位 石川・田中

個人戦 女子 シングルス ベスト8 安食いづみ
榎野裕奈

バスケットボール

ベスト16 曾田葵
堀江涼子
ダブルス 3位 榎野・堀江
男子 シングルス ベスト16 小谷知広
石川祐太

《中国大会予選》

女子 1位 81-40 松江南
二次予選 97-63 出雲
71-48 松江西
66-63 松江商業
※ベスト5賞 山崎志津乃 米山菜摘

《県総体》

男子 1位 113-58 松江南
一次予選 101-62 松江商業
二次予選 77-65 松江西
93-59 三刀屋
82-44 松江北
77-57 出雲北陵
※ベスト5賞 金村大輔 石川智大
女子 二回戦 52-57 出雲北陵
2位 112-48 大東
二回戦 84-67 松江商業
三回戦 98-49 松江工業
準々決勝 84-71 三刀屋
準決勝 58-76 出雲北陵
決勝 ※ベスト5賞 金村大輔

バドミントン

《中国県予選》

学校対抗戦
女子一回戦 3対0 出雲農林
二回戦 0対3 松江北

個人

女子 ダブルス ベスト8 石橋理奈・原智美
女子 シングルスベスト32 原智美

《県総体》

学校対抗戦
女子一回戦 3対0 出雲
二回戦 0対3 松江北 ベスト8

個人

女子 ダブルス ベスト8 石橋理奈・原智美
女子 シングルスベスト16 原智美

バレーボール

《中国県予選》

予選リーグ戦 2-0 益田翔陽
2-0 明誠
2ブロックリーグ戦 2-0 石見智翠館
0-2 三刀屋
0-2 安来

順位決定リーグ戦

1-2 大社
0-2 松江農
2-0 江津

《中国大会》(岡山)

第3位 中国大会出場
0-2 広島翔陽

《県総体》

2回戦 2-0 隠岐
3回戦 2-0 大田
4回戦 2-0 江津
準決勝 0-2 大社
※第3位

ハンドボール

《中国高等学校ハンドボール選手権大会島根県予選》

【女子】リーグ
第1戦 7-17 松江市女
第2戦 3-32 江津
第3戦 3-29 松江南
※総合第4位

【男子】

1回戦 13-15 松江南

【女子】

1回戦 0-34 玉野光南

《県総体》

【女子】リーグ
第1戦 3-42 松江市女
第2戦 8-33 松江南
第3戦 17-32 江津
※総合第4位

【男子】

1回戦 22-18 松江高専
準決勝戦 11-36 飯南
3位決定戦 14-27 松江工業
※総合第4位

ポート

《さくらおろち湖レガッタ》

女子ダブルスカル (久保田・松本) 2位
女子シングルスカル(三角) 5位
女子シングルスカル(河野) 6位
女子シングルスカル(今岡) 7位
男子ダブルスカル (星野・渡部) 1位
男子シングルスカル(田中) 8位
男子シングルスカル(浦部) 棄権

《県総体》

女子ダブルスカル (久保田・松本) 1位
女子舵手付きクワドルプル (渡部・三角・中山・河野・今岡) 1位
男子ダブルスカル (星野・渡部) 1位
男子シングルスカル(田中) 3位
男子シングルスカル(浦部) 予選敗退

《中国高等学校ポート選手権》

女子ダブルスカルA (久保田・松本) 準決勝進出
女子ダブルスカルB (河野・今岡) 予選敗退
女子シングルスカル(三角) 予選敗退
男子ダブルスカル (星野・渡部) 2位
男子シングルスカル(田中) 準決勝進出

《全国総体》

女子舵手付きクワドルプル (渡部・三角・中山・河野・今岡) 予選敗退
女子ダブルスカル (久保田・松本) 準決勝進出
男子ダブルスカル (星野・渡部) 準決勝進出

サッカー

《県総体》

1 回戦 1-1 浜田(PK 3-2)
2 回戦 0-4 出雲

剣道

《中国大会県予選》(4月)

女子団体 一回戦 対 出雲商 0-3
男子団体 一回戦 シード
二回戦 対 出雲西 4-0
三回戦 対 出雲 2-1
準決勝 対 出雲商 2-1
決勝 対 大社 2-2
(代表戦) 負け

卓球

《中国県予選》

女子団体 一回戦 3 対 2 立正大湊南
二回戦 3 対 2 出雲商業
準々決勝 0 対 3 明誠
*ベスト8

女子ダブルス 2 組参加 栗原・村本組 *ベスト8

女子シングルス 4 名参加 栗原沙瑛 *ベスト32

男子団体 二回戦 1 対 3 大田 *ベスト64

男子ダブルス 5 組参加 三回戦までで敗退

男子シングルス 11 名参加 三回戦までで敗退

《県総体》

女子団体 二回戦 3 対 1 立正大湊南
準々決勝 0 対 3 松徳学院

女子ダブルス 2 組参加 栗原・村本組 *ベスト8

女子シングルス 4 名参加 栗原沙瑛・北野可奈 *ベスト64

男子団体 二回戦 3 対 1 大社 *ベスト8

男子ダブルス 三回戦 3 対 2 松江商業

男子シングルス 10 名参加 三回戦までで敗退

男子ダブルス 5 組参加 三回戦までで敗退

男子シングルス 10 名参加 奈良厚志ベスト64

男子ダブルス 5 組参加 三回戦までで敗退

男子シングルス 10 名参加 奈良厚志ベスト64

弓道

《中国大会県予選》

女子団体 (石原・高井・石橋・青山・笠原・久保田)
予選 40 射 7 中 敗退
男子団体 (長澤・鶴原・村井・大谷・大江・永田)
予選 40 射 17 中 敗退

《県総体》

女子個人 久保田真由美 2 回戦進出
男子個人 敗退
女子団体 (石原・高井・石橋・青山・笠原・久保田)
予選 40 射 13 中 敗退
男子団体 (長澤・鶴原・村井・大江・大谷)
予選 40 射 21 中 予選 7 位通過
準決勝 40 射 18 中 8 位

《県総体》(5月~6月)

女子個人 境ベスト16、中西・江戸ベスト32
男子個人 金築ベスト8、岩崎ベスト16
周藤・永島・廣江・福田ベスト32

女子団体 一回戦 対 出雲商 1-2
男子団体 一回戦 シード

二回戦 対 松江商 5-0

三回戦 対 松江南 3-0

準決勝 対 高専 3-1

決勝 対 大社 2-2

(代表戦) 負け

*男子2位

女子個人 境2位(インターハイ出場)

江戸ベスト16

男子個人 金築3位、野津ベスト8

周藤・落部・岩崎ベスト16

《全国総体》

女子個人 境 2 回戦進出

陸上

《出雲陸上》

女子三〇〇〇M 4位 口羽幸乃

男子四×一〇〇MR 4位 足立祥史、岡本拓也

男子四×四〇〇MR 5位 足立潔則、梅木雅矢

男子四×四〇〇MR 5位 花井敦、梅木雅矢

《全山陰》

女子三〇〇〇M 7位 口羽幸乃

男子四×一〇〇MR 7位 足立祥史、岡本拓也

男子四×一〇〇MR 7位 足立潔則、梅木雅也

《県選手権》

女子一〇〇MH 5位 廣瀬佳乃子

男子四×一〇〇MR 8位 梅木雅也、岡本拓也

男子四×一〇〇MR 8位 足立潔則、足立祥史

《県総体》

女子一〇〇MH 6位 廣瀬佳乃子

(中国大会出場)

男子四×一〇〇MR 7位 梅木雅也、岡本拓也

男子四×一〇〇MR 7位 足立潔則、足立祥史



新体操

《県総体》

新体操女子個人 総合 8位 武田千夏

リボン 7位 武田千夏

クラブ 8位 武田千夏

弦楽

松江東高校弦楽部 第7回定期演奏会 開催

5月6日(日) プラパホール

しまねシンフォネット高校オーケストラ

第3回スプリングコンサート 出演

書道

高文連書道コンクール結果(5月31日実施)

3名参加

特選

特選

秀作

渡部菜央

板持杏奈

松本春希

美術

高文連松江地区絵画コンクール

6/1(金)会場 松江市西津田 緑山公園

15名参加 14名入選

文化創造

第48回県高等学校放送コンテスト

朗読部門 優秀賞

創作テレビドラマ部門 優秀賞

ラジオドラマ部門 優秀賞

朗読部門

第59回NHK全国高等学校放送コンテスト

ラジオドキュメント部門 準々決勝出場

創作テレビドラマ部門 準決勝進出

創作ラジオドラマ部門 制作奨励賞

朗読部門 決勝進出

朗読部門 第3位

準々決勝出場

準決勝進出

制作奨励賞

決勝進出

第3位



新任教職員紹介

次の四項目に答える形で紹介します。(アイウエオ順)

- ① 教師にならなかつたら何になつていきますか。
- ② 先生の高校生活を具体的に語ってください。
- ③ 苦手なものをつだけ教えてください。
- ④ 今ハマっていることは何ですか。



村上浩二
(校長)

- ① 平凡にサラリーマンになつたと思う。目論見としては貿易商社など漠然と考えていた。
- ② 男子ばかり五十五人の国立理系クラス。愉快的仲間たちばかりで、松江近郷在住の者で、毎年同窓会を開いているほどの「仲良し」だ。
- ③ 絵を描くことが苦手。授業の材料にちよつとした絵を黒板に描きたいのだが、生徒は誰一人意図した対象であると認識してくれないので、最近ではもう諦めて描かない。
- ④ 東高の教育にハマっている。



秋吉優季
担当教科(化学)
担当学級(22 R 副担任)

- ① 研究者になつていたと思います。
- ② 一年生と二年生前半は部活三昧、二年生後半からは模試三昧の高校生活でした。模試は多く受けすぎて、自分で何をわかつていて、何をわかつていないのか整理が間に合わず最初は点が伸びず苦労しました。模試を受けることで、試験前に知識を詰め込むよりも、復習する時間こそ大切であるということに気がされました。
- ③ くるみ
- ④ 気の向くままにドライブすること。



足立育美
担当教科(日本史)
担当学級(34 R 副担任)

- ① 公務員。
- ② 部活・勉強 8・2
(部活を辞めさせて勉強に専念させたい)両親に土曜講座があると嘘をついては部活に通っていました。
- ③ カエル
- ④ 著名人、偉人の経歴を○○pediaで検索。そして夜が更けていく...



宇津井康興
担当教科(美術)
担当学級(1年 学年付)

- ① 大変難しい質問で答えが出てきません。
- ② 美術部に所属し毎日コツコツと絵を描いていました。勉強は無駄の多い取り組みでしたが、友人には恵まれ高校生活には暖かい印象を持っています。のんびりし過ぎてしまい浪人を二年することとなってしまいました。
- ③ 高いところ。
- ④ タツノオトシゴ達です。今の五匹はそろそろ三ヶ月になります。二つ目の水槽には一センチ弱だった黒鯛の幼魚が四年を過ぎ二十センチを超えるほどに成長しました。



佐藤剛
担当教科(体育)
担当学級(32 R 担任)

- ① 体を動かす仕事についていたと思います。
- ② とにかくアツくて硬派。うっとおしい感じの高校生でした。
- ③ カエル...あのヌメヌメ感と腹のプヨプヨ感が考えただけでも鳥肌が立ちます。
- ④ 釣り...特に海釣りが好きで年に何回かは隠岐まで遠征します。



重並公一
担当教科(数学)
担当学級(13 R) 副担任

- ①何か物を作る職業。
- ②人から指示されることなく、自分で考えて行動していた。(具体的には想像してください)
- ③文章を書くことです(この文章でも辛い)。モノであれば納豆です。
- ④特にないです。



正村 修
担当教科(数学)
担当学級(補習科主任)

- ①何かの研究者だと思えます。
- ②神話博の会場のすぐ近くから、今はなくなつた大社線で出雲高校へ通っていました。当時の出雲高校では、勉強しろと言われた記憶がほとんどありません。部活動にも入らず、好きなことをしてのんびりと過ごしていました。
- ③遅い人と遅い車。気が短いので耐えられません。
- ④泥沼(違うか)。ハマっていることはいろいろあるのですが、秘密です。



田中志宣
担当教科(物理)
担当学級(11 R) 副担任

- ①学生時代にバイトをしていた会社の社長と仲良しだったので、そこにお願ひして雇ってもらいます。
- ②勉強とサッカーにひたすら打ち込み、文武両道を貫いていました。
- ③カエルです。見ただけで鳥肌が立ちます。絶対に触れません。
- ④映像編集に年に数回ハマります。今年度2回目の波がいま来ています。



寺井 直
担当教科(数学)
担当学級(15 R) 担任

- ①卒業した学科を考えると、銀行か保険会社に就職していたのではないかと思います。
- ②授業・部活という平凡な毎日だったように思います。
- ③絶叫マシーン・・・自ら率先して乗ることはありません。
- ④特にありません。



服部明奈
担当教科(英語)
担当学級(16 R) 副担任

- ①医師か薬剤師。なんとなく。
- ②部活…勉強…おしゃべり…いたずら…ケンカ…笑
114...2...1...1...1...1
- ③4本足の動物の絵。特にゾウ。むずかしい。
- ④松江おいしいもの探し。まだまだ行ったことがないところ、知らないところばかりの松江。少しずつ行動範囲を広げていきたいです。



原 慶三
担当教科(日本史)
担当学級(26 R) 副担任

- ①工学系のエンジニアか研究者
- ②高校が男女共学になり、南高史上もつものんびりした時期で、部活をしていなかったたので、本を乱読した。小説も読んだがそれより新書や社会科学系の本を読んだ。なぜか入試に向かう夜行の中で読んだトルストイ『人生論』を思い出す。
- ③整理・整頓、草刈り
- ④歴史の仕事に追われている。公と個人の両方で。息抜きにコンピュータと囲碁を打つ。最新ソフトは強いのに着手が早い。無制限に「まった」ありで20回に1度ほど勝つ。



宮田孝之

担当教科(地理)
担当学級(35 R 副担任)

- ① 事務系の公務員かなと思います。
- ② 歴史好きの普通の高校生だったと思います。印象に残っているのは、毎年十一月に行われるロードレースがきつかったのと、三年生のときの文化祭でクラスで制作した8ミリ映画で悪役になったことです。
- ③ 苦手なものは、食べ物で硬いものや油分が多いものです。
- ④ 今は、浅く広くという感じで、特にありません。



山崎有紗

担当教科(英語)
担当学級(23 R 副担任)

- ① になれるものなら、空港のグラウンドスタッフですね。
- ② よく覚えていることは、登校時間片道四十分ぐらいの距離を日韓W杯の生中継を見たいがために二十分で帰宅したことです。
- ③ 怖い話やホラー映画。見てしまうと、二日間ぐらいは確実にひきずります。
- ④ 今後ハマりたいことは「料理」です。



錦織洋子

(事務長)

- ① 県職員にならなかつたら、OLになっていたと思います。
- ② 毎日、教科書や参考書でパンパンに膨れ上がった重たい学生かばんを持って、汽車通学をしていました。汽車の中での友達とのおしゃべりや、部活動(箏曲部)での友達との触れ合い等楽しく思い出します。もちろん、必死で、一生懸命勉強をしました。多分、今までの人生で一番勉強したのが高校時代だと思います。
- ③ 蒸し暑い夏(すごい汗かきなので)
- ④ 韓国語の勉強。記号にしか見えなかつたハンゲルの文字が読めたときは感激しました。



佐藤公昭

(警備員)

- ① 証券マン
- ② 下宿生活で、休日にはよく映画館に通っていました。アラン・ドロン、ハップバーン、ブリジッド・バルドー、ソフィアローレン等、懐かしい俳優たちです。
- ③ 妻でしょうか
- ④ 特になし



平成24年度PTA会務報告

(平成二十四年四月一日～九月三十日)

7、 ※第54回中国・四国高等学校PTA連合会徳島大会

7月13日(金)

1、 第1回常任理事会

5月1日(火)

3、 PTA総会

5月12日(土)

【議事】

- (1) 平成23年度会務報告・委員会活動報告
- (2) 平成23年度PTA会計収支決算報告
- (3) 平成24年度PTA事業計画提案
- (4) 生徒会費・部活動振興費改定提案
- (5) 平成24年度PTA会計予算案審議
- (6) 平成24年度新役員候補者提案
- (7) 平成23年度生徒活動後援会決算報告
- (8) 平成23年度生徒活動講演会予算提案

【議事】

- (1) 学校近況報告
- (2) 平成23年度PTA会務報告・委員会活動報告
- (3) 平成23年度PTA会計収支決算・監査報告
- (4) 平成24年度PTA役員提案
- (5) 平成24年度PTA事業計画提案
- (6) 生徒会費・部活動振興費改定提案
- (7) 平成24年度PTA会計予算提案

2、 第1回役員会

5月12日(土)

4、 生徒活動後援会総会

5月12日(土)

【議事】

- (1) 学校近況報告
- (2) 平成23年度PTA会務報告・委員会活動報告
- (3) 平成23年度PTA会計収支決算報告
- (4) 平成24年度新役員候補者提案
- (5) 平成24年度PTA事業計画提案
- (6) 生徒会費・部活動振興費改定提案
- (7) 平成24年度PTA会計予算提案
- (8) 平成23年度生徒活動後援会会計収支決算・監査報告
- (9) 平成24年度生徒活動講演会予算提案

【議事】

- (1) 平成23年度生徒活動後援会会計収支決算・監査報告
- (2) 平成24年度生徒活動後援会役員提案
- (3) 平成24年度生徒活動後援会会計予算提案

5、 学年PTA

5月12日(土)

6、 第1回各委員会(研修・広報・生活・進路)

6月15日(金)

8、 第1回保護者面談(全学年)

7月26日(木)～31日(火)

【場所】

アステイとくしま 多目的ホール

【テーマ】

「心つむぎ 志つなぐ」
 ～ともに歩もう 子どもたちと明るい未来へ～

【内容】

研究協議

「高校教育とPTA」岡山県

「進路指導とPTA」高知県

「地域コミュニティとPTA」徳島県

アトラクション

「人形浄瑠璃」 勝浦座

「阿波踊り」 阿波おどり振興協会選抜連

講演

学校法人三橋学園

船橋情報ビジネス専門学校企画広報室室長

夏見台幼稚園・保育園園主

鳥居徹也氏

【出席者】

奥田PTA副会長・村上校長

事業計画

【内容】

9、第62回全国高等学校高校PTA連合会和歌山大会

【場所】

和歌山ビッグホエール、
武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ、
和歌山市民会館、紀南文化会館

8月22日(水)～24日(金)

【テーマ】

和をもって響き合え！

～つれもて広げる 共育の輪～

【内容】

高校生歓迎アトラクション

吹奏楽(向陽中学校・高等学校)

高校生アトラクション

和太鼓(紀北農芸高等学校、きのかわ支援学校)

少林寺

箏曲(桐蔭中学校・高等学校)

基調講演

宇宙航空研究開発機構教授

川口淳一郎氏

分科会一日目

「学校教育とPTA」

「生徒指導とPTA」

「家庭教育とPTA」

高校生アトラクション

マンドリン(耐久高等学校)

合唱(田辺中学校・高等学校)

軽音楽(星林高等学校、県立和歌山高等学校)

分科会二日目

「進路指導とPTA」

「防災教育とPTA」

「地域コミュニティとPTA」

【出席者】

原田PTA会長・村上校長

10、ガイディング講習会(研修委員会主催)

8月25日(土)

【場所】

はなワールド

【内容】

ハンギングバスケット

【参加者】

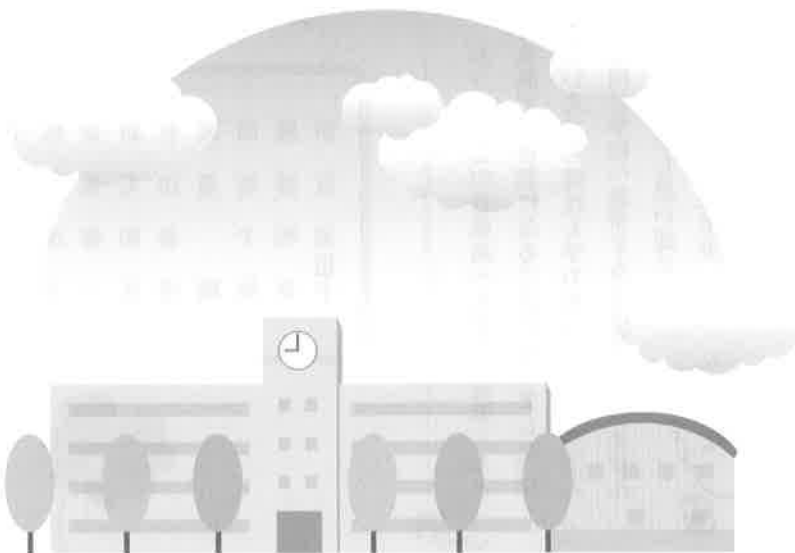
20名

11、東雲祭

【文化の部】 8月30日(木)～31日(金)

ガイディング作品展示

【体育の部】 9月1日(土)



編集後記



東高を訪問する度、明るい声と笑顔に出会い嬉しく心強く感じます。ありがたいことです。直接ではないですが、今回のアンケートにて高校生の今、その一部を知ることができました。子どもたちが、この結果から自ら考え行動してくれると期待しています。何が大事か、よく考えてほしいと思います。

松原淳子

日本人として二年ぶりに山中伸弥京都大学教授がノーベル賞を受賞しました。あらゆる細胞に分化する能力を持つiPS細胞を初めて製作したことで、難病患者を治療する再生医療への道が開けたということなのです。同世代として興味ある話題でした。

さて、今春から末っ子の娘が東高に入学し、PTA会報の発行に携わらせていただきました。今回の特集は、「携帯電話利用状況アンケート」です。二年前のアンケートと比較して、スマートフォンの普及率、利用状況などについて把握しました。結果について各家庭での話題の一つにしていただければ幸いです。

安達修一



編集委員

新	服	田	渡	有	新	安	松
宮	部	坂	邊	田	宅	達	原
美	明	千	美	幸	江	淳	子
也	奈	秋	剛				

末っ子がこの春東高へ入学し、兄弟三人とも東高でお世話になることになりました。兄弟といえども個性も学力もいろいろで、三人とも同じ学校へ進学するとは思っていませんでした。しかし思い起こすと、たくさんの先生方、保護者の方に支えられてここまでこれたと親も一緒に成長させられたとつくづく感じます。末っ子にはもちろん目標をもって高校园生活を充実したものにしたいと思いつつ、親も一緒にこの三年間も楽しめたらと思っています。

新宅和江

ありがとう
叔父さんのおかげで
今自分だけにいる。
感謝の気持ちを大切に





(表紙の絵)

校舎風景

(題

中澤 愛里 (25 R 美術部)

字)

PTA会報 森脇 哲朗 (旧本校教員)

嵩山 上田久美子 (十三期生保護者)